

評価結果概要表

作成日 平成 21 年 3 月 18 日

【評価実施概要】

事業所番号	秋田県知事指定第 0572308013号
法人名	有限会社 すずめだて
事業所名	グループホームすずめだて
所在地	五城目町高崎字雀館下川原88-5 (電話) 018-855-1551
評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会
所在地	秋田市旭北栄町1-5
訪問調査日	平成21年2月13日

【情報提供票より】 (平成21年1月17日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 3 月 15 日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	17 人 (常勤 9 人 非常勤 8 人 常勤換算 )

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	1 階建ての	～ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	<input type="checkbox"/> 有(円) <input checked="" type="checkbox"/> 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input type="checkbox"/> 有(円) <input checked="" type="checkbox"/> 無	有りの場合 償却の有無	<input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,050 円

(4) 利用者の概要

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	3 名	要介護2	6 名
要介護3	3 名	要介護4	3 名
要介護5	3 名	要支援2	0 名
年齢	平均 79.8 歳	最低 70 歳	最高 90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	千葉内科医院、わしや歯科医院、湖東総合病院
---------	-----------------------

【外部評価で確認された事業所の特徴】

近くに大型ショッピングセンターがある住宅地の一面に位置し、周囲は静かな環境で、畑にナスやトマト、キュウリなどを利用者と一緒に栽培、収穫して食卓を飾っている。  
 「日々穏やかに、その人らしく過ごせる環境づくり」を理念に掲げ、その実現に向けて職員間で話し合いながら効率的なサービス提供方法を模索している。  
 その一つとして、以前は一人ひとり交代で休憩していたが、発想を転換して昼食後に利用者が居室に戻った後に一斉に休憩することとし、その分午後の入浴などで職員の負担軽減に努め、利用者と共に過ごす時間も増えてサービスの向上にもつながっている。  
 また、事業所の雰囲気は一般的な家庭に近く生活感があり、生活自体をレクリエーションにして利用者の自立と身体機能の維持に努めており、今後もより「家庭的」な生活空間づくりに向けて取り組んでほしい。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	運営推進会議の開催や行政主催の会議に参加するなど、行政や地域包括支援センターとの連携・充実に力を入れている。 また、救急救命士による講習受講や火災通報システムの設置など、利用者の安全確保と防災意識の高揚に努めている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者及び職員が評価の意義や目的を理解し、職員が分担して自己評価を行い、それを職員間で検討して一つにまとめている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議への全員参加が困難な状況のため、書面により運営状況等を報告のうえ意見を求める手法を取り入れているが、回答者が固定化しているため十分機能していない。そのため、会議の日時など開催方法を工夫し、外部評価結果や事業所の課題を議題とし、サービスと事業所運営の向上につなげてほしい。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族から食事内容が分からないとの要望があったため、メニューをホールに掲示して常時確認できるよう改善している。 なお、意見箱を設置しているが意見がないため、普段の何気ない会話の中から意見や要望を受け止めるよう努めている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会の行事に参加して交流しているほか、事業所の祭りやクリスマスパーティに地域住民を招待し、職員がバイキング料理をつくってご馳走するなど楽しみながら関わっており、地域の芸術文化協会とも積極的に交流している。

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
<b>I. 理念に基づく運営</b>								
<b>1. 理念と共有</b>								
1	1	○地域密着型サービスとしての理念	すずめだて理念「穏やかな日常と心安らぐ環境作りを心がけ入居者一人ひとりが生き生きと自分らしく生活を送れるよう支援します」			日々穏やかに、その人らしく過ごせる環境づくりを理念に掲げ、その人にとっての幸せにつながるよう理念の実践に努めている。	○	地域でその人らしく生活することための支援に努めているため、実践に合わせて地域密着型サービスとしての思いを理念に盛り込むことが望まれる。
		地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	すずめだて理念「穏やかな日常と心安らぐ環境作りを心がけ入居者一人ひとりが生き生きと自分らしく生活を送れるよう支援します」					
2	2	○理念の共有と日々の取り組み	理念をホームの見やすい所に明示し、すべての職員がホーム理念を述べる事ができ、実現に取り組んでいる			各ユニットの玄関及び事務所内に理念を掲示し、毎月第4火曜日にユニット毎の全職員によるミーティングを行い、年2回はユニット合同のミーティングで理念を確認している。		
		運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をホームの見やすい所に明示し、すべての職員がホーム理念を述べる事ができ、実現に取り組んでいる					
3	3	○家族や地域への理念の浸透	説明文書及び契約書にわかりやすく明示し、かつ家族に説明している。行事等で地域へ連絡をし、理解へ向けている					
		事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	説明文書及び契約書にわかりやすく明示し、かつ家族に説明している。行事等で地域へ連絡をし、理解へ向けている					
<b>2. 地域との支えあい</b>								
4	4	○隣近所とのつきあい	散歩時、外出時お互いに声かけするようになり、近所の人も散歩中に立ちよったりしている					
		管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩時、外出時お互いに声かけするようになり、近所の人も散歩中に立ちよったりしている					
3	5	○地域とのつきあい	地域の祭り、事業所の祭りなど行事に参加し、交流に努めている			町内会に加入して夏祭りなどの行事で交流しているほか、地域の芸術文化協会ともスコープ三味線やオカリナ演奏、ダンスの披露などを通じて交流している。 また、事業所の祭りやクリスマスパーティに地域住民を招待し、職員がバイキング料理をつくってご馳走するなど互いに楽しみながら関わっている。		
		事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の祭り、事業所の祭りなど行事に参加し、交流に努めている					

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
6		○事業所の力を活かした地域貢献	地域の各委員の訪問などを受け入れお互いに役立つ情報交換を行っている					
		利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の各委員の訪問などを受け入れお互いに役立つ情報交換を行っている					
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>								
4	7	○評価の意義の理解と活用	ホーム全体で自己評価に向けて取り組み理解に努めている			管理者及び職員が評価の意義や目的を理解しており、評価票を職員が分担して書き込み、職員間で検討しながらまとめて、評価の意義の理解ができています。		
		運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホーム全体で自己評価に向けて取り組み理解に努めている					
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み	運営推進委員会へのサービス、ケアについて報告し助言をいただき、サービス向上に活かしている			参加状況に応じて2～3か月に1回開催し、外部評価結果や行事など事業所の運営状況を報告している。 なお、参加状況を考慮しながら3回に1回は書面でのやり取りで報告したり、助言や意見を求めるなど参加者の負担軽減に努めている。	○	運営推進会議を行事に合わせて開催したり、積極的に課題や問題点を取り上げて議題にするなど、サービスの向上と事業所運営の効率化に向けて効果的な開催方法を検討・工夫してほしい。
		運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員会へのサービス、ケアについて報告し助言をいただき、サービス向上に活かしている					
6	9	○市町村との連携	不明な点など市町村担当者の相談し、助言をいただいている。ホームの行事への参加を呼びかけ会議以外での交流に努めている。			行政担当者や民生委員が見学を訪れたり、夏祭りには町長を招待し、行政の地域雇用創造協議会に職員2名が参加するなど連携に努めている。 また、地域包括支援センター職員が利用者の対応も含めて頻繁に事業所を訪問し、普段から関わりを持っている。	○	地域包括支援センターの保健師や栄養士からの指導・助言を得るなど、さらなる理解と協力が得られるよう今後も積極的な働きかけを期待したい。
		事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	不明な点など市町村担当者の相談し、助言をいただいている。ホームの行事への参加を呼びかけ会議以外での交流に努めている。					
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用	現在2名の入居者が制度を活用している	○	職員への浸透がまだ浅い為、今後学習会などを予定している			
		管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在2名の入居者が制度を活用している	○	職員への浸透がまだ浅い為、今後学習会などを予定している			

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
11	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束、虐待防止マニュアルを作成している						
		身体拘束、虐待防止マニュアルを作成している						
<b>4. 理念を実践するための体制</b>								
12	○契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時に重要事項説明書、運営規定などで十分な説明をし、家族からも十分に目を通して頂き疑問点などを出してもらい説明し、納得して頂いている						
		入所時に重要事項説明書、運営規定などで十分な説明をし、家族からも十分に目を通して頂き疑問点などを出してもらい説明し、納得して頂いている						
13	○運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	特に機会としては設けてはいないが、利用者が都度訴えかけてくる						
		特に機会としては設けてはいないが、利用者が都度訴えかけてくる						
7 14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時（来られない家族へは電話連絡）便りなどで報告している			3か月毎に「すずめだて便り」を発行し、利用者の生活や行事の様子を知らせているほか、特別な連絡事項があれば電話や手紙、面会時などに伝えている。 また、金銭管理については小遣い帳の写しを毎月報告し、透明性の確保に努めている。	○	毎月の在宅医療に関わる「一部負担金」について、協力医に依頼して明細を明らかにし、家族が理解・納得できるよう説明することが求められる。	
		面会時（来られない家族へは電話連絡）便りなどで報告している						
8 15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	不満、苦情を書いてもらう設定はしているが、家族が記入したときがない。面会時などで話し合いをしている。			玄関に意見箱を設置し、面会時には積極的に声かけしながら意見や要望の把握に努めている。 また、普段の何気ない会話の中からも利用者及び家族の要望として受け止め、サービスにつなげている。	○	家族会を立ち上げているが、家族の参加状況が低調なため定期的な開催が課題となっていることから、家族会の役割・機能を発揮できるよう開催方法の工夫を期待したい。	
		不満、苦情を書いてもらう設定はしているが、家族が記入したときがない。面会時などで話し合いをしている。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
16	○運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関する職員のいけんを聞く機会は特に設けてはいないが、業務の中で話し合いはある						
		運営に関する職員のいけんを聞く機会は特に設けてはいないが、業務の中で話し合いはある						
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	緊急時、または必要なときには、職員の確保に努め、勤務体制を整えている。						
		緊急時、または必要なときには、職員の確保に努め、勤務体制を整えている。						
9 18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職した職員と馴れが深かった入居者へは職員全体でカバーしている			担当制ではあるが、常時担当者以外にも全職員が隔たりなく声かけしながら関わっている。 また、退職時には利用者に理由を十分説明し、不安を軽減しながらスムーズな引継ぎに努めている。			
		離職した職員と馴れが深かった入居者へは職員全体でカバーしている						
<b>5. 人材の育成と支援</b>								
10 19	○職員を育てる取り組み  運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に参加させている	○	研修報告を行い他職員に伝えている。さらに実践できる様取り組んで行きたい。	職員の経験や職種、希望などに応じて交代で研修を受講し、職員会議等で発表して知識・技術の共有に努めている。 また、新人職員等の実践者研修への参加など、組織として基本的な方針がある。	○	基本方針を踏まえながら職員の経験や目標などに応じて年間の研修計画をたて、計画的かつ段階的にスキルアップできるよう体制づくりに期待したい。	
		研修に参加させている	○	研修報告を行い他職員に伝えている。さらに実践できる様取り組んで行きたい。				
11 20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	連絡協議会に入会し、ネットワーク作りや勉強会などを行っている。また懇親会なども参加し、職員こうりゅうも行っている。			圏域の連絡協議会を立ち上げ、経営者、管理者、介護者の各部会で互いに交流することにより、悩みや問題を共有し解決につなげるため情報交換している。	○	圏域の協議会が発足したばかりのため、今後は職員同士が互いに事業所を訪問して交流を図る機会をつくるなど、協議会を通じた工夫により地域全体のレベルアップにつなげてほしい。	
		連絡協議会に入会し、ネットワーク作りや勉強会などを行っている。また懇親会なども参加し、職員こうりゅうも行っている。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
	21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み	職員相互が気兼ねなく話し合える場所や親睦会など気晴らしの機会を作っている。					
		運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員相互が気兼ねなく話し合える場所や親睦会など気晴らしの機会を作っている。					
	22	○向上心を持って働き続けるための取り組み	職員の努力や実績を素直に認め日常の会話や、会議など話している。	○	職員個々と今以上に話し合う機会を作る。			
		運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の努力や実績を素直に認め日常の会話や、会議など話している。	○	職員個々と今以上に話し合う機会を作る。			
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>								
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>								
	23	○初期に築く本人との信頼関係	入居者からの希望、要望があった場合、話をよく聞き対応している。					
		相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居者からの希望、要望があった場合、話をよく聞き対応している。					
	24	○初期に築く家族との信頼関係	入居者が悩みを話す事ができるような、機会、場所を作り対応する。					
		相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居者が悩みを話す事ができるような、機会、場所を作り対応する。					
	25	○初期対応の見極めと支援	入居者、家族と向き合い、求めていることを理解できるよう努める。					
		相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者、家族と向き合い、求めていることを理解できるよう努める。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
12	26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	入居者、家族と希望や要望を聞き入れ、コミュニケーションを取り対応する。  入居者、家族と希望や要望を聞き入れ、コミュニケーションを取り対応する。				○	退院と同時に利用する方が多いため、事前に病院へ足を運んで馴染みの関係をつくり、利用後は本人が落ち着ける場所を見つけるまで職員が手を繋ぎ、付き添うよう配慮している。  病院からの利用であっても、一時的に外出許可を得て事業所で過ごすなど、事前に事業所の雰囲気慣れるための取り組みを工夫してほしい。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>								
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	おやつ、食事時などに一緒に食べながら談話をしコミュニケーションを取っている。  おやつ、食事時などに一緒に食べながら談話をしコミュニケーションを取っている。					裁縫の得意な方を中心に、職員と一緒に皆でフェルトを使った手づくりカレンダーを作成したり、畑づくりや調理方法など喜怒哀楽を共にする場面がある。 また、お雛様づくりを一緒に行う計画もあり、なるべく支え合う時間づくりに務めている。
	28	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	昨年「家族会」の開催を行った。面会時には家族の困りごとや入居者の心情をなるべく聞き取るように心がけるようにしている。又、支援に必要な昔の話を家族から聞き取り情報を共有している。  昨年「家族会」の開催を行った。面会時には家族の困りごとや入居者の心情をなるべく聞き取るように心がけるようにしている。又、支援に必要な昔の話を家族から聞き取り情報を共有している。	○	遠方であったり、面会に来れない家族もいるので、家族、本人の繋がりを保てるような方法を考えたい。「家族会」の開催も昨年行ったが全員参加とは行かず違った方法を考えたい。			
	29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時はゆっくり過ごせるような場を提供するよう心がけている。また本人の生活の様子を丁寧に離し理解して頂いている  面会時はゆっくり過ごせるような場を提供するよう心がけている。また本人の生活の様子を丁寧に離し理解して頂いている					
	30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の昔なじみの床屋、商店などを現在も利用している。  利用者の昔なじみの床屋、商店などを現在も利用している。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
	31	○利用者同士の関係の支援	身体の不自由な入居者には、健康な人が手伝いできるよう、また孤立しがちな入居者には、職員が間に入り交流できる機会をつくっている。					
		利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	身体の不自由な入居者には、健康な人が手伝いできるよう、また孤立しがちな入居者には、職員が間に入り交流できる機会をつくっている。					
	32	○関係を断ち切らない取り組み	退去者の情報提供などの要請があれば随時応じている。					
		サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去者の情報提供などの要請があれば随時応じている。					
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>								
<b>1. 一人ひとりの把握</b>								
14	33	○思いや意向の把握	食事の好みを把握し、バランスに考慮したメニューを味つけにしている。外出の希望がある場合本人の意向をできるだけ尊重している。			利用者一人ひとりの嗜好や好みを把握しており、買い物や調理時に意向に合わせて対応している。 また、排泄時の誘導や食事中にむせ込む場合などタイミングを的確に把握して支援している。		
		一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	食事の好みを把握し、バランスに考慮したメニューを味つけにしている。外出の希望がある場合本人の意向をできるだけ尊重している。					
	34	○これまでの暮らしの把握	生活暦を把握し、得意分野を生活の中で生かせるよう支援している。					
		一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活暦を把握し、得意分野を生活の中で生かせるよう支援している。					
	35	○暮らしの現状の把握	毎日のバイタルチェック、状態観察により把握している。					
		一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日のバイタルチェック、状態観察により把握している。					



外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>								
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月1回入居者一人ひとりのカンファレンスを行っている。会議の時にも状態変化など日常生活の中で気づいたことについて話し合い、計画に反映させている。			担当している利用者のほか全利用者の日常変化や目標などの詳細を項目毎に観察記録に書き込み、家族の意向を踏まえてカンファレンスを行い、利用者一人ひとりの希望に合わせた介護計画を作成している。		
			月1回入居者一人ひとりのカンファレンスを行っている。会議の時にも状態変化など日常生活の中で気づいたことについて話し合い、計画に反映させている。					
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	個々の状態変化に応じ随時、または定期的にカンファレンスを行い見直している。敵時サービス担当者会議を行っている。			毎月のモニタリングで観察記録を活用し、担当者のほか全職員の気づきなどから3か月または必要に応じて計画を見直ししており、管理者も常に計画との整合性を意識している。		
			個々の状態変化に応じ随時、または定期的にカンファレンスを行い見直している。敵時サービス担当者会議を行っている。					
	38	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ケースファイルがあり、日常や変化を詳しく記入している。それをもとにカンファレンスを行い計画を見直している。					
			個別ケースファイルがあり、日常や変化を詳しく記入している。それをもとにカンファレンスを行い計画を見直している。					
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>								
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通所介護サービスを開設し、ホーム以外の利用者をかかえることで入居者の刺激につながるような対応をするよう心がけている。又、通所の迎えや送りなど入居者と一緒に行っている。			昨年に認知症対応型通所介護事業所を併設し、利用者同士で交流しながら楽しく過ごしている。また、家族に代わっての通院支援や看護師との連携体制確保により柔軟に対応している。		
			通所介護サービスを開設し、ホーム以外の利用者をかかえることで入居者の刺激につながるような対応をするよう心がけている。又、通所の迎えや送りなど入居者と一緒に行っている。					
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>								
	40	○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関、医療機関等と協力しながら支援している	年に二、三回消防訓練を行い地域の住民の参加を呼びかけている。又、地域のボランティア（民謡同好会など）の方々の交流を定期的に行っている。	○	地域の方々がもっと気軽に立ち寄れるようなホームづくりを工夫していきたい。			
			年に二、三回消防訓練を行い地域の住民の参加を呼びかけている。又、地域のボランティア（民謡同好会など）の方々の交流を定期的に行っている。	○	地域の方々がもっと気軽に立ち寄れるようなホームづくりを工夫していきたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
41	○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の連絡会が発足され、定期的に情報交換をしている。						
		地域の連絡会が発足され、定期的に情報交換をしている。						
42	○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議などに参加してもらい町村の現状などの情報や新しい情報を得るなどしている。又、包括センターからの利用者のサービス提供もあり協働している。						
		運営推進会議などに参加してもらい町村の現状などの情報や新しい情報を得るなどしている。又、包括センターからの利用者のサービス提供もあり協働している。						
18 43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	地域のかかりつけ医より月2回往診をしてもらっている。又、緊急時にはすぐに連絡・対応できるようにしている。内服薬の処方にかかりつけ薬局にお願いし不明な点など相談ののってもらっている。			かかりつけ医が協力医のため、利用者の健康相談や診察、薬の処方など連携しており、ターミナルケアが必要な場合には対応してくれることになっている。			
		地域のかかりつけ医より月2回往診をもらっている。又、緊急時にはすぐに連絡・対応できるようにしている。内服薬の処方にかかりつけ薬局にお願いし不明な点など相談ののってもらっている。						
44	○認知症の専門医等の受診支援  専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医でカバーできない認知症の分野は、専門医に定期、臨時受診をしている。家族、介護職員が都度状況に合わせて報告、相談に行くこともある。						
		かかりつけ医でカバーできない認知症の分野は、専門医に定期、臨時受診をしている。家族、介護職員が都度状況に合わせて報告、相談に行くこともある。						
45	○看護職との協働  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	居宅療養労里指導を行っている。健康管理などの情報を提供してもらっている。	○	歯科、眼科などの分野でも健康指導をしてもらえよう、考えていきたい。				
		居宅療養労里指導を行っている。健康管理などの情報を提供してもらっている。	○	歯科、眼科などの分野でも健康指導をもらえよう、考えていきたい。				

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
46	○早期退院に向けた医療機関との協働  利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院中は、職員が病院を訪れ、関係者との情報交換を行い症状を把握している。						
		利用者が入院中は、職員が病院を訪れ、関係者との情報交換を行い症状を把握している。						
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方については本人家屋の意思を尊重し、かかりつけ医と話し合い方針を共有している。			協力医との連携などターミナルケアでの対応体制を確保しているが、現在は家族の希望がなく、入院して最期を迎える方が多いため、今後検討する必要性を感じている。	○	ターミナルケアの対応が可能な体制があることから、事業所としての方針を明確にし、全体での共通認識を図ることが望まれる。
		重度化した場合や終末期のあり方については本人家屋の意思を尊重し、かかりつけ医と話し合い方針を共有している。						
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援  重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	日々業務の中で職員間で情報交換をし変化を見逃さないようにしている。状態の変化があった場合はかかりつけ医、家族も含め都度話し合いの場を設ける。						
		日々業務の中で職員間で情報交換をし変化を見逃さないようにしている。状態の変化があった場合はかかりつけ医、家族も含め都度話し合いの場を設ける。						
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、本人及び家族に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人及び家族に関わるケア関係者に情報提供を行い、ダメージを防ぐことに努めている。						
		本人及び家族に関わるケア関係者に情報提供を行い、ダメージを防ぐことに努めている。						
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>								
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>								
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>								
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	認知症に伴う、生活上の失敗や間違いがあってもプライバシーに配慮した声掛けや対応をしている。また個人情報の取り扱いは、慎重に行っている。			穏やかな話し方で利用者の人格を尊重し、排泄などで失敗しても意思を尊重し、プライバシーにも配慮しながら自力で行ってもらうなど支援している。 また、個人情報は事務所内にロッカーに施錠のうえ管理・保管している。	○	「すずめだて便り」を家族以外に提供する際には、写真など個人が特定される個人情報の掲載に留意し、家族の同意を得るなどの対応が望まれる。
		認知症に伴う、生活上の失敗や間違いがあってもプライバシーに配慮した声掛けや対応をしている。また個人情報の取り扱いは、慎重に行っている。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を「尊厳の保持」に配慮して行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の思いや希望を普段の会話や態度から聞きだしている。	○	意思表示のできない利用者にも配慮していきたい。				
		本人の思いや希望を普段の会話や態度から聞きだしている。	○	意思表示のできない利用者にも配慮していきたい。				
21 52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の好むことを把握して要望を取り入れている。			食事のペースや毎日の生活リズムを尊重し、いつもは昼食の支度を手伝ってくれる方が、カルタや塗り絵など他にしたい事があれば手伝いを強要せず、その方のペースに合わせて暖かく見守っている。 また、気の合う利用者同士の空間や時間を大切に、家族の理解も得ながら支援している。			
		入居者の好むことを把握して要望を取り入れている。						
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>								
53	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理・美容院の利用は本人が望む店を（以前からのなじみの店）利用している。						
		理・美容院の利用は本人が望む店を（以前からのなじみの店）利用している。						
22 54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者に体調をうかがいながら、一緒に食事の準備や片付けをしている。			毎日の食事づくりや後片付けを利用者と職員が一緒に行い、利用者の嗜好に応じて献立を変えている。 また、畑で採れた野菜を使用したり、20種類以上のバイキング料理をつくるなど食事の雰囲気づくりを工夫している。			
		入居者に体調をうかがいながら、一緒に食事の準備や片付けをしている。						
55	○本人の嗜好の支援  本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつ時にはコーヒーなど飲み物の希望がある場合には出している。歯がない入居者様にはやわらかいお菓子を出している。						
		おやつ時にはコーヒーなど飲み物の希望がある場合には出している。歯がない入居者様にはやわらかいお菓子を出している。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
56	○気持ちよい排泄の支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう「尊厳の保持」に配慮して支援している	適度なトイレ誘導 失禁のあった場合はパット、リハパンの交換をし清拭をしている。						
		適度なトイレ誘導 失禁のあった場合はパット、リハパンの交換をし清拭をしている。						
23 57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しむように支援している	曜日や時間帯以外にも入浴の希望があれば入浴し背中を流したりしている。			入浴日は決めているが、利用者の希望に応じて入りたい時に入れるよう対応している。 また、介助を拒む方には見守りながら背中を流すなど、利用者の意思を尊重して対応している。			
		曜日や時間帯以外にも入浴の希望があれば入浴し背中を流したりしている。						
58	○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼寝の習慣のある人にはさりげなく休むように誘導している。また入床前には安眠できるように足浴を実施している。						
		昼寝の習慣のある人にはさりげなく休むように誘導している。また入床前には安眠できるように足浴を実施している。						
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>								
24 59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者に声掛けをし洗濯たたみ、縫い物、食器拭きなどをそれぞれ得意な分野で行ってもらっている。			モップで掃除する方、配膳や食器拭きを手伝う方など、それぞれにできる事を無理なく行っている。 また、裁縫や畑づくり、手づくりのカルタで皆で遊ぶなど経験や趣味を生活に取り入れている。			
		入居者に声掛けをし洗濯たたみ、縫い物、食器拭きなどをそれぞれ得意な分野で行ってもらっている。						
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様が欲しいものを要望してきた場合、職員が買い物に行く時、購入している。又、同行し、一緒に商品などを選んでいく。						
		入居者様が欲しいものを要望してきた場合、職員が買い物に行く時、購入している。又、同行し、一緒に商品などを選んでいく。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取り組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
25	61	○日常的な外出支援	職員の買出し付き添い、近所への散歩、花壇への水やり。こもりがちな人でもできるだけ声掛けし外へ目をむけてもらう事を心掛ける。			季節に応じて花見や菜の花ロードに出かけ、博物館やドライブ、買い物など頻繁に出かけている。 また、通所介護利用者の送迎と一緒に連れて行くほか、車イスの方も一緒に外出する機会をつくっている。		
		事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員の買出し付き添い、近所への散歩、花壇への水やり。こもりがちな人でもできるだけ声掛けし外へ目をむけてもらう事を心掛ける。					
	62	○普段行けない場所への外出支援	家への外泊、家族との旅行、レクリエーションでの遠出。					
		一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家への外泊、家族との旅行、レクリエーションでの遠出。					
	63	○電話や手紙の支援	入居者が家族に電話を要望した場面 職員同士話し合い、家族が不安がらない内容か確かめ合い行動する様に心掛けている。					
		家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者が家族に電話を要望した場面 職員同士話し合い、家族が不安がらない内容か確かめ合い行動する様に心掛けている。					
	64	○家族や馴染みの人の訪問支援	休日には家族の面会も多く、入居者様も楽しみにしている人も多い。特にお孫さんに会えるのを楽しみにしている。					
		家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	休日には家族の面会も多く、入居者様も楽しみにしている人も多い。特にお孫さんに会えるのを楽しみにしている。					
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>								
	65	○身体拘束をしないケアの実践	身体拘束は行わずケアしている。					
		運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行わずケアしている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取り組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
26	66	○鍵をかけないケアの実践	鍵をかけないケアにつとめているが、入居者の不穏時の危険状況に応じて判断しやむをえない場合に限り、行うことがある。			○	普段から鍵はかけず、帰宅願望の強い方の状態に応じて一時的に施錠することもあるが、願望が強い場合には一緒に一時帰宅し、納得したら帰って来るなど支援している。 また、駐車場が広いので、万が一外出した場合でも利用者を確認することができる。	住宅街に位置しているため、近隣住民や関係機関等に理解と協力を働きかけ、地域全体で利用者を見守り、支える仕組みづくりに向けて取り組みを工夫してほしい。
		運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	鍵をかけないケアにつとめているが、入居者の不穏時の危険状況に応じて判断しやむをえない場合に限り、行うことがある。					
	67	○利用者の安全確認	入居者のプライバシーを侵さないようにし、昼夜通して安全を確認している。	○	歩行不安定な入居者には、特に気をくばり介助にあたっている。			
		職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者のプライバシーを侵さないようにし、昼夜通して安全を確認している。	○	歩行不安定な入居者には、特に気をくばり介助にあたっている。			
	68	○注意の必要な物品の保管・管理	危険な物は入居者の目の届かない場所に保管している。	○				
		注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険な物は入居者の目の届かない場所に保管している。	○				
	69	○事故防止のための取り組み	常に入居者に目くばりをしている。歩行不安定な入居者にはその方の歩行ペースに合わせ介助している。ムセのある入居者の食事にはトロミをつけ、職員が見守っている。					
		転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	常に入居者に目くばりをしている。歩行不安定な入居者にはその方の歩行ペースに合わせ介助している。ムセのある入居者の食事にはトロミをつけ、職員が見守っている。					
	70	○急変や事故発生時の備え	毎年救急救命講習を、職員全員が受けている。	○				
		利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行っている	毎年救急救命講習を、職員全員が受けている。	○				

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に二回、三回職員、入居者が火災訓練を行っている。			救急救命士による救命講習のほか、消防署による非難訓練と消化訓練を実践している。また、火災通報装置や火災通報専用電話機、火災受信機など新しいシステムを設置し、早期発見及び早期対策に取り組んでいる。	○	今後も避難訓練への住民参画を呼びかけるとともに、夜間や地震などを想定した実践的な訓練実施など、内容の充実に努めてほしい。
			年に二回、三回職員、入居者が火災訓練を行っている。					
	72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	それぞれの家族に説明はしていないが、面会時に質問された場合、リスクがあることを話している。					
			それぞれの家族に説明はしていないが、面会時に質問された場合、リスクがあることを話している。					
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>								
	73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	心身の変化や異常発生時、医師、医療機関との連携が取れており、すばやい対応ができる。					
			心身の変化や異常発生時、医師、医療機関との連携が取れており、すばやい対応ができる。					
	74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が入居者一人ひとりの服用している薬を理解し、飲み間違いのないように努めている。身体に変化がみられる場合、主治医に連絡を取り解決している。					
			職員全員が入居者一人ひとりの服用している薬を理解し、飲み間違いのないように努めている。身体に変化がみられる場合、主治医に連絡を取り解決している。					
	75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日乳製品を摂取させたり、ラジオ体操を行い、身体を動かし便秘をさせないように努めている。便秘が何日か続いた場合にはいしの処方に従う。					
			毎日乳製品を摂取させたり、ラジオ体操を行い、身体を動かし便秘をさせないように努めている。便秘が何日か続いた場合にはいしの処方に従う。					



外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
76	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアができる利用者には見守りで、自分でできない利用者には職員が口腔ケアを介助し、清潔を保持している。						
		口腔ケアができる利用者には見守りで、自分でできない利用者には職員が口腔ケアを介助し、清潔を保持している。						
28 77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	季節に合わせて、メニューを作り栄養バランスを考えており、「毎日食べる量」、水分量をチェックし、一人ひとりの状態を把握している。			水分や食事摂取量が分かるよう記録し、利用者一人ひとりの状況把握に努めている。また、メニューは皆で考えて作成し、家族にも分かるようホールに掲示している。	○	メニューの変更もあるため、地域包括支援センターに相談し、栄養士や保健師から指導や助言を得られるよう働きかけ、適正な栄養バランスの確保に努めてほしい。	
		季節に合わせて、メニューを作り栄養バランスを考えており、「毎日食べる量」、水分量をチェックし、一人ひとりの状態を把握している。						
78	○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	消毒や手洗いの取行。入居者、職員は毎年インフルエンザの予防接種を受けている。面会の方にも手の消毒、マスクの着用をお願いしている。嘔吐や下痢の時の対応の仕方を職員全員が周知している。						
		消毒や手洗いの取行。入居者、職員は毎年インフルエンザの予防接種を受けている。面会の方にも手の消毒、マスクの着用をお願いしている。嘔吐や下痢の時の対応の仕方を職員全員が周知している。						
79	○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	週2度の食器の煮沸消毒のほか、必要時にはハイターでの消毒も行っている。食材は毎日新鮮なものを買求め、適所に保管し早めに使い切るようにしている。						
		週2度の食器の煮沸消毒のほか、必要時にはハイターでの消毒も行っている。食材は毎日新鮮なものを買求め、適所に保管し早めに使い切るようにしている。						
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>								
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>								
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	広いスペースを確保し駐車場には「ようこそすずめだて」の看板を設置。玄関にはプランターを飾り、入り口のガラスには季節に合わせたディスプレイをしている。						
		広いスペースを確保し駐車場には「ようこそすずめだて」の看板を設置。玄関にはプランターを飾り、入り口のガラスには季節に合わせたディスプレイをしている。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールには季節感のある入居者の作品を展示し、観葉植物や花などを飾っている。夏には窓にすだれをかけて、日差しを防いでいたり、窓から見える場所に花壇を作り楽しんでいる。			喚気や採光、温度も適度で、花や絵、手芸品などを飾り、心和む雰囲気づくりに努めている。 また、周囲の環境も静かなため利用者が居心地よく、落ち着いて過ごしており、洗剤などの危険物は利用者の目にふれないよう保管場所を工夫している。		
			ホールには季節感のある入居者の作品を展示し、観葉植物や花などを飾っている。夏には窓にすだれをかけて、日差しを防いでいたり、窓から見える場所に花壇を作り楽しんでいる。					
	82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールにはソファや一人用のイス、数人が囲むテーブルが設置してあり、そのときの気分に合わせて、自由に過ごせるように工夫している。					
			ホールにはソファや一人用のイス、数人が囲むテーブルが設置してあり、そのときの気分に合わせて、自由に過ごせるように工夫している。					
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には家庭で使われていたタンス、ベット、収納ケースを置き写真や花、人形を飾るなどして、安心して過ごせるように環境作りに努めている。			家族が訪問した際には座ってくつろげるよう全居室に畳を完備し、すぐに敷けるよう配慮している。 また、自宅から持参した馴染みの家具や調度品、手作りの手芸品や絵画、家族の写真など利用者の好みで飾り、個性ある生活空間をつくっている。		
			居室には家庭で使われていたタンス、ベット、収納ケースを置き写真や花、人形を飾るなどして、安心して過ごせるように環境作りに努めている。					
	84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気や温度の調節、トイレの清掃をこまめに努め、気になるにおいや空気のおどみがないように保持している。					
			換気や温度の調節、トイレの清掃をこまめに努め、気になるにおいや空気のおどみがないように保持している。					
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり								
	85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は手すりや、車椅子の方の高さに合わせて、洗面所の鏡に傾斜を持たせるなど工夫している。	○	転倒に気をつけ事故の無いように努めたい			
			建物内部は手すりや、車椅子の方の高さに合わせて、洗面所の鏡に傾斜を持たせるなど工夫している。	○	転倒に気をつけ事故の無いように努めたい			

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
86	○わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	買い物や食事の支度、入浴や排泄など自分で行うことは見守りながら支援している。また、畑や花壇作りも取り入れ水やりや草取りも実施されている。						
		買い物や食事の支度、入浴や排泄など自分で行うことは見守りながら支援している。また、畑や花壇作りも取り入れ水やりや草取りも実施されている。						
87	○建物の外周や空間の活用  建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外回りは広く、散歩を楽しんだり、花壇に花が咲いた時には観賞に活かしている。						
		外回りは広く、散歩を楽しんだり、花壇に花が咲いた時には観賞に活かしている。						

※  は、重点項目。

項目		自己評価		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと) ①：1ユニット(1号棟) ②：2ユニット(2号棟)
		①	②	
<b>V. サービスの成果に関する項目</b>				
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

虐待や拘束などの事例資料を職員全員で回覧し、それに対しての意見、感想を個人個人に記入してもらい、職員会議などでディスカッションを行った。日々の介護でこのようなことがおこらないように努めている。

虐待や拘束など事例資料を職員全員で回覧し、それに対しての意見、感想を個人個人に記入してもらい職員会議などでディスカッションを行った。日々の介護でこのようなことがおこらないようにしている。